

医仁会武田総合病院職員の

新型コロナウイルス感染者の発生について(第2報)

令和2年8月13日
医仁会武田総合病院
院長 三森 経世

8月11日(火)夕刻に当院職員(20代病棟勤務女性看護師)がコロナウイルスに感染していることが判明したことに伴い、濃厚接触者職員9名(現在、自宅待機中)を含む24名の職員、及び当該病棟の入院患者26名の計50名について、8月12日(水)中に検体を採取しPCR検査を実施しています。現在、当該職員は他医療機関に入院中で、容態は安定しています。

当該病棟が回復期リハビリテーション病棟であったことから、8月12日(水)及び13日(木)については、当該病棟の新規受入及び院内全体においてリハビリテーションを中止しております。また当該病棟の消毒も既に実施済みで、接触の疑われる既に退院した患者様にも連絡し、保健所の指示に従い、自宅待機を要請させていただきました。

上記PCR検査については、8月13日夕刻には結果が判明しますので、詳細は追って逐次このホームページにて報告いたします。

診療面でご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。当院は引き続き感染拡大防止に全力で努めてまいります。